

丸亀ドイツ兵俘虜



塩屋収容所での集合写真(『俘虜写真帖』より)。前列中央に着席するのは、2代目所長の納富広次中佐で、1917年2月撮影。丸亀ドイツ兵俘虜収容所集合写真(約324名)



〈丸亀式挨拶〉

Freundlichst und mitleidsvoll willkommen.

大いに友好的に、かつ同情を込めて歓迎します。

1914年(大正3年)11月16日に丸亀の俘虜が多度津港へ上陸した時、花で飾られた「凱旋門」が立てられ、そこにドイツ語でこの「歓迎の挨拶」が書かれていたことに由来します。

この「挨拶」の言葉を伝えたのはヨハネス・パールト(ドイツ兵俘虜)で、彼はこの言葉を読んで、しみじみと日本へ来て良かったと感じ、解放後も日本に永住することを決意したと述べています。
(「バラック第2巻」第20号)(1918. 8. 11)「収容所漫筆」

丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る会

●事務局／丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)内
〒761-2405 香川県丸亀市綾歌町栗熊西1680番地 <http://www.marugame-ilex.org/>
TEL0877-86-6800 FAX0877-86-6808